



市議会:087(839)2831 自宅:087(888)3272

eメール:takachan.takamatsu@gmail.com HP:https://www.t-ooyamajp/



新たなまちづくりの基本方針となる第7次高松市総合計画がスタートしました (令和6年度から13年度までが計画期間です)



目指すべき都市像を「人がつどい 未来に躍動する世界都市・高松」とし、その実現に向けて新たな目標と発展の方向性が定められました。市民の皆様が自分らしく、心豊かな暮らしを実感でき、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりの実現のために、全力を挙げて取り組んで参ります。皆様、この総合計画は、ホームページや広報誌4月号に掲載されています。これから高松市が具体的にどんなまちづくりを目指しているのか、是非一度この計画をご覧下さいね。よろしくお願い致します。

※総合計画は、そのまちの目指す将来像とその実現に向けた「まちづくり」や「市政運営」の基本方針となる最上位の計画です。

11月22日 大西市長に対し、物価高騰対策と経済再生に向けた緊急要望を行いました。



長期に及ぶ物価高騰は家計や事業活動に深刻な負担を与えています。そこで、政府の総合経済対策に盛り込まれた低所得世帯への7万円の迅速な給付について年内に予算化することや地域経済の実情に応じた物価高騰対策の実施を求める要望を行いました。

2024年度から、がん患者医療用補正具助成事業の対象者が拡充されます!!



2023年4月から若年がん患者(20~39歳)を対象に、医療用ウィッグ(かつら)や胸部補正具の購入助成事業が開始されましたが、2024年度から高松市は、対象年齢を撤廃しました。香川県が対象年齢を撤廃すると都築県議から伺い、是非高松市も撤廃すべきではないかと担当課に要望した結果、新年度から実施できるようになりました。がん患者会の方々から喜びの声が届いております。

- ★対象期間・・・申請日から過去1年以内に購入したもので、購入した日の翌日から1年以内に申請してください。
- ★助成額・・・購入費の3分の2で、上限2万円です。医療用ウィッグと乳房補正具それぞれ1回1台限りとなります。

※令和5年4月1日以降の購入が対象で、令和5年度中に購入した補正具の申請は、購入時の年齢が20~39歳の方となります。

● 3月議会報告(代表質問) ●



質問

- ①どのようにして、積極的に住宅耐震化を進めていく考えなのか？
- ②今後の家具類転倒防止対策の考えは？
- ③家庭での備蓄を更に周知啓発する考えは？
- ④備蓄品をデジタル化により、一元管理する考えは？
- ⑤男女共同参画の視点からの避難所の環境整備などの見直しをする考えは？
- ⑥災害時における妊産婦や乳幼児への対応についての考えは？
- ⑦今後の防災訓練に対する考えは？

防災対策について

答弁

- ①耐震診断を終了しても改修にされていない所有者へ、改修を促す文書送付や個別訪問等も含め、働きかけていく。また広報高松やSNSなどで制度内容を分かりやすく紹介などしていく。
- ②新年度は、家具類転倒防止器具の購入補助に加え、業者に取付を依頼した場合の費用も補助対象とするよう検討している。また器具取付に関する説明会の開催も検討していく。
- ⑤災害時指定職員に、より多くの女性職員を配置するほか、職員に対する研修会等の機会をとらえ、女性が避難所運営に参加することの大切さを周知啓発するなど、避難所の環境整備の見直しを図る。
- ⑥「乳幼児と保護者、妊産婦のためのハンドブック」を参考に新たな啓発資材を作成し、これを利用して、「はじめてのハハママ教室」や母子健康手帳の配布時などの機会を通じて、周知啓発していく。
- ⑦実施時期や時間帯など、これまでの前例にとらわれない、新たな訓練方法を検討するほか、各地域の防災訓練に関しては、その内容を各地域間で共有できる仕組みを構築し、より実効性のある訓練が実施できるように取り組む。

質問

- ①国際的な評価指標のGDS-Indexをいかした、更なる持続可能な都市を目指す考え
- ②ユニバーサルツーリズムについて、受け入れる都市を目指す考え

答弁

「人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松」の実現に向けて

- ②観光施設の整備の際に、バリアフリー化などを行うことに加え、あらゆる機会を通じて、積極的な情報発信を行うなど、ユニバーサルツーリズムを受け入れるに適した都市を目指していく。

質問

- ①出産・子育て応援給付金事業の意義を踏まえ、当事者の意を酌み、電子地域通貨などを活用する考えは？
- ②「こども誰でも通園制度(仮称)を今度どのように取り組む考えか？
- ③市立保育等での紙おむつのサブスクリプション導入についての考えは？
- ④子ども計画を策定する考えは？

子育て支援について

答弁

- ②保育士の確保や受け入れ施設の環境整備に加え、利用手続きの仕組みづくり等が必要なことから、この対応を検討しつつ、子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果も踏まえ、令和7年度からの実施について検討していく。
- ③保護者のご意見を伺うとともに、保育現場の紙おむつの保管場所など課題も含めて意見を聴取するなど、導入について検討していく。
- ④次期「高松市子ども・子育て支援推進計画」に、「高松市子どもの貧困対策推進計画」を包含し、新たに若者育成支援の視点も取り入れて、全体をまとめて、「こども計画」として策定することを検討する。

質問

- ①今後の法定雇用率達成に向けた取り組みについては？

答弁

障がい者支援について

- ①雇用している障がい者からの意見等を踏まえ、働きやすい職場環境の整備を図りながら、法定雇用率の達成に向けて、鋭意取り組んでいく。

質問

- ① **プレコンセプションケア(妊娠前の健康管理)**について、積極的な普及・啓発をする考えは？
- ② 検査費用助成事業について、実施効果等を調査する考えは？

答弁

女性の健康について

①新たにリーフレットを作成し、女性の健康週間などに、SNSで発信するほか、保健センターの来所者などに配布するなど、重要性について、積極的に普及啓発していく。

質問

- ① 令和6年度が**キャッチアップ推進**の最終期限であることを広く知らせる考えは？
- ② 様々な手段で、対象者の方々の不安を払しょくする啓発等を集中して行う考えは？

答弁

がん対策について

① 6月発送予定の「がん検診のお知らせ」のチラシに、**キャッチアップ接種が終了する旨を盛り込み、送付する封筒にも表記し、対象者の家族を通じた啓発も行っていく。**また、**医療機関からも対象者へ呼び掛けて頂くように依頼していく。**

② 医学的見地に基づく子宮頸がんのリスクや、ワクチンの効果・安全性に関する情報等を分かりやすく紹介したリーフを活用し、SNSなどを通じて情報発信するほか、**20歳前後の方々をターゲットに大学や企業等の協力を頂き、学生や新規採用者等へ周知啓発を行う。**

質問

- ① 「てまえどり」「3010運動」そしてオリジナル容器を作成し、mottECOを普及し、市民の意識向上のための更なる推進について
- ② 食品ロス削減全国大会の開催に向けて、取り組む考えは？

答弁

食品ロス削減対策について

② 食品ロス削減の取組を着実に推進しながら、将来的な大会の開催を念頭に、まずは、主催者や開催自治体等との情報交換を進め、開催の効果や課題について整理した上で、検討していく。

質問

- ① 文科省が示したように、正確な検査や診察に支障がない範囲で、児童生徒のプライバシー等に十分配慮し、全学校で安心して学校健診が受けられるよう環境整備を行う考えは？
- ② 脊柱側弯症健診において、**三次モアレ検査機器**を活用した健診を実施し、早期発見する考えは？

答弁

学校検診について

① 健康診断の意義や重要性、検査・診察の内容や方法などについて、児童生徒や保護者に対して、丁寧な説明を行い、特別な配慮が必要な場合は、本人の意向を踏まえ、学校医と相談し、個別に実施するなど、より一層のプライバシー保護の配慮に努める。

② 今年度、文科省の調査研究事業で、中学校一校で専用機器を用いた検診を実施した。来年度は、県の補助事業で同様の検診を実施予定なので、**専用機器による検診方法の検証を行い、医師会との協議も踏まえ、実施の在り方を検討する。**

質問

- ① みんなの病院における医師の働き方改革の状況について
- ② 今後の医師確保の考えは？
- ③ 働き方改革を着実に進め、継続していくための取り組みについて
- ④ 今回の包括外部監査に対する受け止めと、今後の取り組みについて

答弁

病院関連について

② 医師の派遣を受けている関連大学との連携強化や将来的な医師採用が期待できる。初期臨床研修医の受け入れを積極的に行うなど、多面的な手段を講じていく。

④ 院内のデジタル化やタスクシフト、タスクシェアの推進など、**働き方改革が着実に進むようこれらの取組を継続し、また複数主治医制の導入や、医療DXの推進、看護師の特定行為の実施など新たな取組も検討していく。**



高ちゃん活動報告

三谷町の歩道の水たまり対策が出来ました!!



2023年1月に三谷町の溝渚党員さんから、大勢の子供たちが通る歩道に水が溜まりやすく、子供たちは危ないけれど車道に出て通学しているの、その対策をとる

要望を頂く。2023年度の新年度予算によって、'ます'を設置し、水はけを良くし舗装も行いました。地域の皆様に喜んで頂いています。



前田西町の見通しが悪い三差路のカーブミラーを、二方向が見えるカーブミラーに交換できました。

2023年11月に国方党員さんから、以前から一方からの車が見えらうにカーブミラーが設置されていたが、旧道から出てくると見えにくいので、もう一枚カーブミラーを設置できないかの要望を頂き、無事12月に二方向が見えるカーブミラーに交換できました。



あっちこっち高ちゃん

10月24日 ピンクリボン2023ポスターデザインコンテスト表彰式に運営役員として参加(司会進行を務めました)



県内在住の中学、高校、大学、専門学生を対象に「乳がんは早期発見・早期治療が大切である」ことを伝えるポスターを募集し、今年は160点の素晴らしい作品が寄せられました。

1月5日 高松市中央卸売市場の令和6年初祈願祭に出席

朝5時前に起きての参加でしたが、高松市民の台所である中央卸売市場の1年間の無事故と商売繁盛を祈りました。



1月27日 男女共同参画セミナー「女性ロールモデルとの交流会」にパネラーとして参加

市内大学等学生を対象として、私は「政策・方針決定過程への女性の参画拡大」についてお話し、その後グループごとに交流会がもたれ、様々なご意見を頂き、有意義なひと時となりました。



1月27日 能登半島地震被災者救援の会に募金活動のお手伝い

高松市内での募金活動のお手伝いをしました。大変多くの方々募金に応じて頂きました。



3月10日 一宮防災訓練に参加



今回は避難所を開設することから始まり、テント張り、簡易トイレの設置などなど、段ボールベットに寝たり、簡易トイレにも座ってみました。運営していく中で、様々な課題も見え、とても有意義な訓練となりました。

3月20日 公明党香川県本部女性局の街頭演説会を実施

3月1~8日の女性の健康週間の意義を込めて、私は子宮頸がんのキャッチアップ接種についてお話をしました。